

観点別学習状況の評価に対するサポート

数研出版 編集部

§1. 観点別学習状況の評価

2022年度より開始となりました新課程において、観点別学習状況の評価の観点は、図1のように、次の3つに整理されました。

- 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」
- 「主体的に学習に取り組む態度」

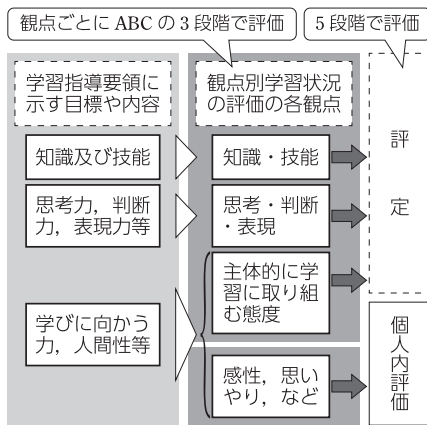


図1 各教科における評価の基本構造

さらに、3つの評価の観点は、以下のようにまとめられています。

知識・技能

- ・学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価
- ・学習の過程を通じた知識及び技能を既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価

思考・判断・表現

知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力, 判断力, 表現力等を身に付けているかどうかを評価

主体的に学習に取り組む態度

知識及び技能を獲得したり、思考力, 判断力, 表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を

を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価

数研出版では、このような評価を行うにあたり必要となる資料や教材を豊富に用意し、先生方をサポートする体制を整えております。

この記事では、これらの資料や教材についてご紹介いたします。

§2. 教授資料, 指導用教科書

新課程教科書の教授資料では、

『学習評価に関する参考資料

～学習評価(観点別評価)サポートブック～』

(以下、『学習評価サポートブック』)を新たに教授資料本体の冊子とは別にご用意いたしました。『学習評価サポートブック』は以下の内容で構成されています。

- ・学習評価の考え方に関する特集記事
- ・観点別評価集計ファイルについて
- ・観点別評価規準例

このうち、「観点別評価集計ファイル」、「観点別評価規準例」についてご説明いたします。

●観点別評価集計ファイル

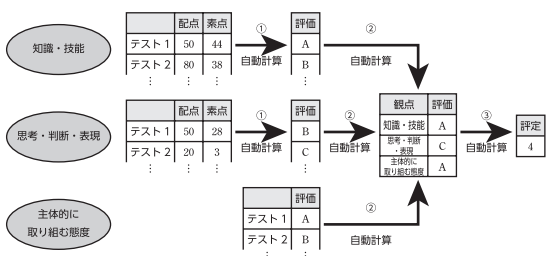
平成31年の「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」において、指導要録の参考様式に図2のような記載欄が新たに設けられ、観点別学習状況の評価を充実し、その質を高められることが求められるようになりました。

| 各教科・科目等 | | 第1学年 | | |
|---------|-----|------|---|---|
| | | 学 | 評 | 修 |
| 教科等 | 科目等 | 観 | 定 | 得 |
| | | 点 | | 単 |
| | | 状 | | 位 |
| | | 況 | | 数 |
| | | 別 | | |

図2 様式2(指導に関する記録)における記載欄

そこで、観点別学習状況の評価をしやすくするとともに、観点別学習状況の評価から評定の算出をしやすくするためのファイルをご用意いたしました。このファイルが「観点別評価集計ファイル」となります。以下のことが可能です。

- ①単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに実施したテストなどの結果を記録し、事前に定めた評価基準に照らして観点別評価を自動算出できる
- ②学期末や学年末の段階で、①の評価を総括し、評価基準に照らして観点別評価を自動算出できる
- ③②の評価を総括し、評価基準に照らして評定を自動算出できる



このファイルを利用することで、観点別学習状況の評価から評定が算出しやすくなります。また、評定算出の際の3観点の重み付けの設定も自由に行うことができるため、先生方のお考えに沿った評価、評定が可能になります。なお、このファイルは教授資料付属のDVD-ROMに収録しております。

●観点別評価規準例

『学習評価サポートブック』の最後には「観点別評価規準例」をご用意いたしました。

2 学習計画と観点別評価規準 *以下、履修月はあくまでも目安である。
第1章 数と式

| 学習内容 (担当時間) | 月 | 学習のねらい | 知識・技能 |
|----------------|-------------------|---|--|
| 第1節 式の計算 | 1. 多項式の加法と減法(1.5) | 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。 | ○単項式や多項式、同項項、次数などに関する用語を理解している。 ・例1～3、練習1～4 ○多項式について、同項項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 ・例4～5、練習5～6 ○多項式の加法、減法の計算ができる。 ・例6～7、練習7～8 |
| | 2. 多項式の乗法(2) | | ○指数法則を理解し、多項式の乗法の計算ができる。 ・例8～10、練習9～11 ○展開の公式を利用できる。 ・例11～12、練習12～13 ○式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式が適用できるようにすることができる。 ・例題1～2、練習14～15 |
| 3. 因数分解(3) | 5 | | ○因数分解の公式を利用できる。 ・例14～15、例題4、練習18～20 ○因数分解を行うのに、文字のおき換えを利用することができる。 ・例題5、練習21 |
| 問題(0.5) | | | |

教科書の内容や問題について、どのような観点で評価をすることができるか、1つの例を表形式で示しています。

さらに、指導用教科書ではこの観点別評価規準例に記載された内容や問題にそれぞれ「知」、「思」、「意」の3観点のマークを付しています。そのため、指導用教科書を利用して、その問題で評価できる観点を確認することも可能です。

観点別評価規準例は紙面だけでなく、教授資料付属のDVD-ROMにWordファイルを収録しています。また、数研出版HPでもWordデータをダウンロードできます。そのため、内容を変更し、オリジナルの観点別評価規準を作成することも可能です。

§3. 指導者用デジタル教科書

指導者用デジタル教科書のプリント作成システムにおける問題検索機能を利用すると、前述の「観点別評価規準例」に掲載されている問題について、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」のそれぞれの問題を検索することができます。



プリントやテストにおいて、それぞれの観点の問題を掲載する際に非常に便利です。

ここまでご紹介してきました通り、新課程においても、観点別学習状況の評価を行うための資料や教材を充実させ、十分なサポート体制を整えております。これらの資料や教材がご指導の一助になれば幸いです。

《参考文献》

- [1] 数研通信 No.101 新課程における観点別学習状況の評価 北島茂樹
- [2] 文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター(2019)「学習評価の在り方ハンドブック」(高等学校編)